
機構だより 2012.9.20

「業務代行組合区画整理」講習会開催のご案内

厳しい事業環境が続く中、従来にも増して業務代行方式についての関心が高まっています。

2008年度以降認可された組合の約4割が業務代行方式を採用して事業を進めている現状で、あらためて業務代行方式の真のメリットは一体何なのか？ 業務代行方式を導入した組合の運営はどのようになるのか？ 組合・代行者・行政、三者の関係は？ 契約はどのように交わすのか等々、事例も含めて学習して頂く目的で講習会を開催いたします。業務代行方式の導入を検討されている組合準備組織、事業を指導される市町村の担当職員、業務代行を手掛ける民間事業者やそれらの相談に与るコンサルタントの方々等、多方面からのご参加を歓迎致します。

実施日：平成24年10月12日（金） 13：00～17：00（受付12：30）

場 所：財団法人 区画整理促進機構 会議室

申込期限：**平成24年9月28日（金）** 定員30名（定員に達し次第締め切り）

講習内容：業務代行方式の基礎知識、民間事業者の業務代行取組みの現状、事例

受講料：8,000円（税込、テキスト代含む） 受講料は10月2日迄に銀行にお振込みください。振込手数料はご負担願います。

※詳細は当機構ホームページ(http://www.sokusin.or.jp/events/e_index.html)をご参照下さい。

『中心市街地活性化講習会2012』開催のご案内

第15回目となる今回の講習会では「低炭素まちづくりと中心市街地活性化」をテーマに、有識者の講演及び先進的に取り組まれている中心市街地活性化の事例（3地区）についてご紹介いたします。全国で街なか再生に取り組まれている皆様のご参加をお待ちしています。

開催日：平成24年10月19日（金）

開催会場：【東京】全国町村議員会館 大会議室（2階）

（東京メトロ半蔵門線半蔵門駅より徒歩0分、同有楽町線麴町駅より徒歩6分）

定 員：120名（定員に達した場合は受付が終了となります。）

テキスト：『中心市街地活性化講習会2012』（当日配布）

講習内容：講演・国交省、基調講演：筑波大学 谷口守氏、事例紹介：富山市他2事例

受講料：6,000円/人

受講料は**10月15日（月）**までに下記口座宛お振込み下さい。

振込手数料は参加者でご負担願います。

【振込先】 三菱東京UFJ銀行 麴町中央支店（015）

普通（1353874）

【口座名義】 ちゅうしんしがいちかつせいかすいしんしえんきょうぎかい
中心市街地活性化推進支援協議会

申込方法：受講申込用紙 (<http://www.sokusin.or.jp/machinaka/index.html> からダウンロード
できます) に必要事項をご記入のうえ F A X 又は E-mail でお申込下さい。

申 込 先： 中心市街地活性化推進支援協議会

事務局 財団法人 区画整理促進機構 街なか再生全国支援センター

〒102-0084

東京都千代田区二番町12-12 B.D.A.二番町ビル2階

F A X：03-3230-4514

T E L：03-3230-8477

M A I L：mail@sokusin.or.jp

『区画整理フォーラム2012』開催のご案内

今年で第9回を迎える「区画整理フォーラム」を以下の要領にて開催することとなりました。

今回は全体テーマを“復興と防災まちづくり”といたしました。

これからの街づくりは、人口減少・高齢化時代の到来、地球環境問題、社会資本の老朽化などの諸課題に加え、昨年3月の東日本大震災からの復興による活力ある都市を実現するためのまちづくり、また他の地域においても防災を基軸にしたまちづくりが模索されています。これらの状況を踏まえ、テーマを“復興と防災まちづくり”といたしました。

また、事業実施上の観点からは、事業を安定的に継続・運営するための工夫、多様な地域特性に応じた柔軟かつ多様な事業展開、環境にやさしい低炭素社会の実現に向けた取組み、事業後も地域が良好に維持発展を目指すいわゆるエリアマネジメントの取組みなど、様々な課題に対応することが求められています。

全国各地で区画整理手法を用いたまちづくりに取組まれている方々をはじめ、多くの皆様がこのフォーラムを、それぞれの問題解決の糸口を見つけるための情報収集・交換の場として、また、貴重な経験やノウハウの伝播の機会として是非活用されることを期待いたします。

多方面からの論文・報告を発表いただくようお願いするとともに、数多くの皆様の積極的なご参加を賜りますようご案内いたします。

主 催： 区画整理フォーラム実行委員会
全国土地区画整理事業推進協議会 市街地整備促進協議会
一般社団法人 全日本土地区画整理士会 財団法人 都市づくりパブリック
財団法人 区画整理促進機構 デザインセンター
公益社団法人 街づくり区画整理協会 独立行政法人 都市再生機構

後援(予定)： 国土交通省
一般社団法人 都市環境エネルギー協会 社団法人 再開発コーディネーター協会
社団法人 都市計画コンサルタント協会 公益財団法人 都市計画協会
一般社団法人 日本建築学会 公益社団法人 土木学会
一般財団法人 都市みらい推進機構 公益社団法人 日本都市計画学会

参加費： 一般 8,000円/人、学生 1,000円/人
受講料は 10月1日(月) までに下記口座宛お振込み下さい。振込手数料は参加者
でご負担願います。
【振込先】 みずほ銀行 麹町支店 普通 (1729377)
【口座名義】 区画整理フォーラム実行委員会

申込方法： 参加申込用紙 (<http://www.ur-ir.or.jp/>からダウンロードできます) に必要事項をご記入のうえFAXでお申込下さい。

申込先： 区画整理フォーラム実行委員会事務局
 公益社団法人 街づくり区画整理協会 担当：時任
 〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-13 ノーブルコート平河町 4 階
 FAX：03-3262-5907 TEL：03-3262-2089

区画整理フォーラム2012 プログラム

第1日 平成24年11月7日(水) 13:00~17:15

分科会(於:都市センターホテル 5・6・7F会議室)

区分	テーマ	内容
第一分科会	復興まちづくりと都市の防災	大災害から“ひと”と“まち”をどのように守るのか、ハード・ソフトを併せたまちづくりのあり方とは? ●避難誘導、空間デザイン、瓦礫活用方策など復興まちづくり計画の課題と工夫 ●防災集団移転促進事業との協調 ●将来の大災害に備えたまちづくりに向けて ●木造密集市街地の改善・解消を目指す
第二分科会	持続可能なまちづくり	多様な人々が、快適に、安心して住み・働き・憩えるまち、環境に優しいまちをどのように創り、育てるのか? ●エリアマネジメントによる、まちの管理・運営事例 ●事業立ち上げ段階からのマネジメントのあり方 ●景観調整等によるにぎわいの創出 ●まちづくりルール・デザインガイドライン等居住環境維持・向上 ●スマートシティへの取り組みとマネジメント ●医療・福祉との連携
第三分科会	組合経営、組合及び公共団体施行における事業の課題と工夫	組合経営再建への取組みは?区画整理事業地区の課題と工夫は? ●組合経営のノウハウ ●保留地処分の有効策 ●業務代行方式の新たな工夫と挑戦 ●小規模区画整理、修復型区画整理、敷地整序区画整理、飛び施行区画整理、地籍整備型区画整理、再開発事業との一体的施行、同時・合併など合わせ技のテクニック ●長期未着手地区の見直し ●長期化事業の見直し
第四分科会	既成市街地の再生と区画整理の技法	大都市の国際競争力の強化、地方都市の中心市街地再生のための大街区化とは?それらを支える区画整理の技法は? ●小規模街区を集約し高度利用を図り活性化につなげた事例 ●移転テクニック ●換地テクニック ●直接施行 ●土壌汚染対策 ●土地評価手法 ●技法の伝承 ●国際展開等の区画整理の教育・啓蒙

平成24年11月7日(水) 18:00~

意見交換会(於:ルポール麹町 2F「ロイヤルクリスタル」)

第2日 平成24年11月8日(木)

基調講演、パネルディスカッション(於:JA共済ビル1F「カンファレンスホール」)

時間	内容
10:20	基調講演「東日本大震災の教訓とこれからのまちづくり」 日本大学 岸井 隆幸 氏
13:00	パネルディスカッション「大災害の教訓を活かした『新たなまちづくりとは?』」 コーディネーター:法政大学 高見 公雄 氏

第29回評議員会、第39回理事会開催の報告

平成24年8月21日（火）当機構会議室にて、第29回 評議員会、第39回 理事会を開催しました。評議員会、理事会で「公益認定申請」について審議が行われ、① 公益財団法人区画整理促進機構定款（案）、② 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程（案）、③ 公益認定申請書類が承認されました。

また、理事会では、理事長、専務理事の互選を行い、理事長に下田 公一、専務理事に水野 紳志が互選されました。



平成24年度第1回民間事業者研究会分科会開催の報告

平成24年8月31日（金）、当機構民間事業者研究会の平成24年度第1回「官民（地方自治体・民間事業者）の協働による区画整理事業スキーム検討」分科会が開催され、各参加メンバーの自己紹介に続いて座長・副座長の選出を行い、今年度の活動方針と今後の進め方についての検討が行われました。また、事務局より「地方公共団体が施行する土地区画整理事業に於ける民間事業者包括委託方式ガイドライン」について策定の背景や経緯についての説明が行われました。



▲分科会の様子